



炉端の会
2019.05

「炉端の会」のひとり言-1

◇3月25日(月)、花見で18期会の初会合。

炉端の会ホームページなどで呼びかけを行って発足させた18期会の初回記念集會をサクラの名所である高津区緑ヶ丘霊園で行いました。7名の方々が参加者されました。

この日、園内のサクラは未だ3分咲き程度でしたが、青空のもと爽やかな花見の宴となりました。マイペースで飲み食いしながら、日ごろの各人の思いを伝え合いました。この会での知見は炉端の会活動に生かせるとの意見や、参加者を増やす良い手立てがないかなどのお話が出されました。記念写真の後、隣接する東高根森林公園でカタクリの花を見てパークセンターにて解散しました。



(緑ヶ丘霊園)

◇3月27日(水)、金曜班の園外催し(薬師池公園の周辺散策)

コース概要：町田駅(バス)→薬師が丘バス停→ぼたん園・ふるさと農具館→ファーマーズセンター→鎌倉井戸→ダリア園→薬師堂裏(薬師池公園)→解散。
桜の花も咲きほこる絶好の散策日和で、参加者の親睦を深める事が出来ました。



(町田市HP薬師池公園より)

(集合写真)



(薬師堂)



(薬師池公園)



炉端の会
2019.05

「炉端の会」のひとり言-2

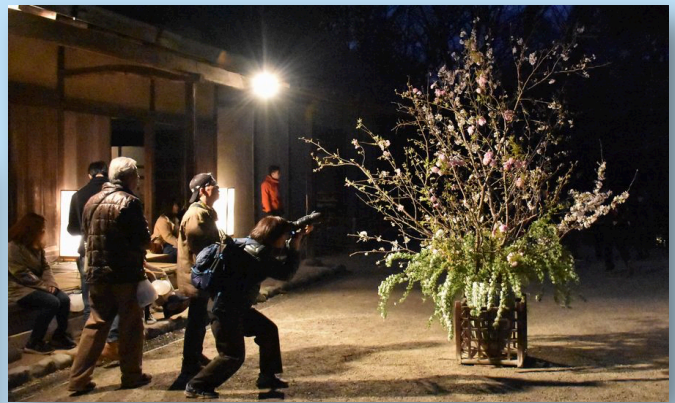
◇3月30日(土)、31日(日)の2日間、“夜の民家園”が行われました。

“夜の民家園”は宿場と信越の村をライトアップし、20時迄公開するものです。

今年の夜の民家園では佐々木家の前庭に大きな花瓶に活けた桜が展示されました。



(むかし話が始まる前のひと時)



(佐々木家前庭の大きな花瓶に生けた桜)

「炉端の会」では鈴木家・山田家・野原家の3棟で囲炉裏を焚き、井岡家では恒例の回り灯籠を行い、来園者を歓待しました。

30日に山田家で行われた「むかし話」では聞かれる方が会場一杯になり、入場をお断りするほどでした。



(井岡家での幻想的な回り灯籠の様子)

今回も回り灯籠は新作が多数、準備されご覧になった方からは、綺麗、幻想的等の言葉と共に、どの様にして回しているのかと言った質問も出ていました。

「炉端の会」と共に民家園で活動されている「民具製作技術保存会」の皆さんは藁細工・糸紡ぎ等の夜なべ仕事の実演をされました。



(夜なべ仕事の実演(糸紡ぎ)の様子)